

柏崎での充実した一か月

今年5月7日から一か月、柏崎総合医療センターで総合診療学の臨床実習をさせていただきました。やっと新型コロナウイルスの影響も少し薄れてきて対面での実習が可能になってきた中、多くの科を回らせていただきました。

各科の先生方はお忙しい中にも関わらず、いつも親身になってご指導くださり、どんな些細な質問も丁寧に解説してくださいました。研修医の先生方もみなさん気さくで、初期研修の過ごし方や3年目以降将来のことなど、研修医目線ならではのお話を休み時間にたくさん聞かせてくださいました。また、看護師さんや事務の方を含めたコメディカルのみなさんもいつも優しく気にかけてくださり、アットホームな雰囲気の中、安心して実習することができました。

外来実習では問診や診察を体験できました。最初は学んできた知識を実際の現場で上手く活かすことの難しさを感じましたが、回数を重ねる度に段々と慣れてくる部分もあって、短い期間でも自分の成長を感じることができました。

現在興味のある消化器内科では、先生方のご指導の下、シュミレーターを使って内視鏡の練習をさせていただきました。その他、いろいろな検査にも関わらせてくださいました。

診療所での実習もあり、大学ではなかなか体験することができない、地域に密着した医療に触れました。一人一人の患者さんに親身になって寄り添う先生の姿はとても印象的でかっこよく、自分も将来先生のように患者さんに寄り添える医師になりたいと思いました。

充実した1か月を経験させてくださった柏崎総合医療センターのみなさまに感謝を申し上げます。ありがとうございました。